

# 日伸工業株式会社環境方針

## 基本理念

日伸工業株式会社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、併せて琵琶湖及び鬼怒川の存在を常に意識しながら、当社の事業活動、製品及びサービスと環境との共存を目指します。

## 環境方針

日伸工業株式会社は、精密金属プレス加工、表面処理加工、溶接、組立並びに金型、機械設備の設計・製作・販売会社として活動をする事業所です。当社の事業活動及び製品による環境への影響を継続的に改善するために以下の環境活動を実施します。

- ・ ISO14001規格の要求事項に沿った環境マネジメントシステムを構築し、維持します。
- ・ 環境目的・目標を定め、その実現を図り、定期的に見直すことにより、環境管理システムの継続的改善を推進します。
- ・ 環境関連の法律、規制、協定又は当社が受け入れたその他の要求事項を遵守すると共に環境汚染の予防を推進します。
- ・ 省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組みます。
- ・ 当社の中央を流れる川(大津工場)、その他に、環境負荷を与える化学薬品や貯蔵物の流出を防ぐために、予防及び訓練を行います。

## 環境方針の周知・公開

環境方針は、職場への掲示、環境カードの携帯等による方法で常駐業者を含む全従業員に周知させます。また一般の人には、要望に応じて公開します。

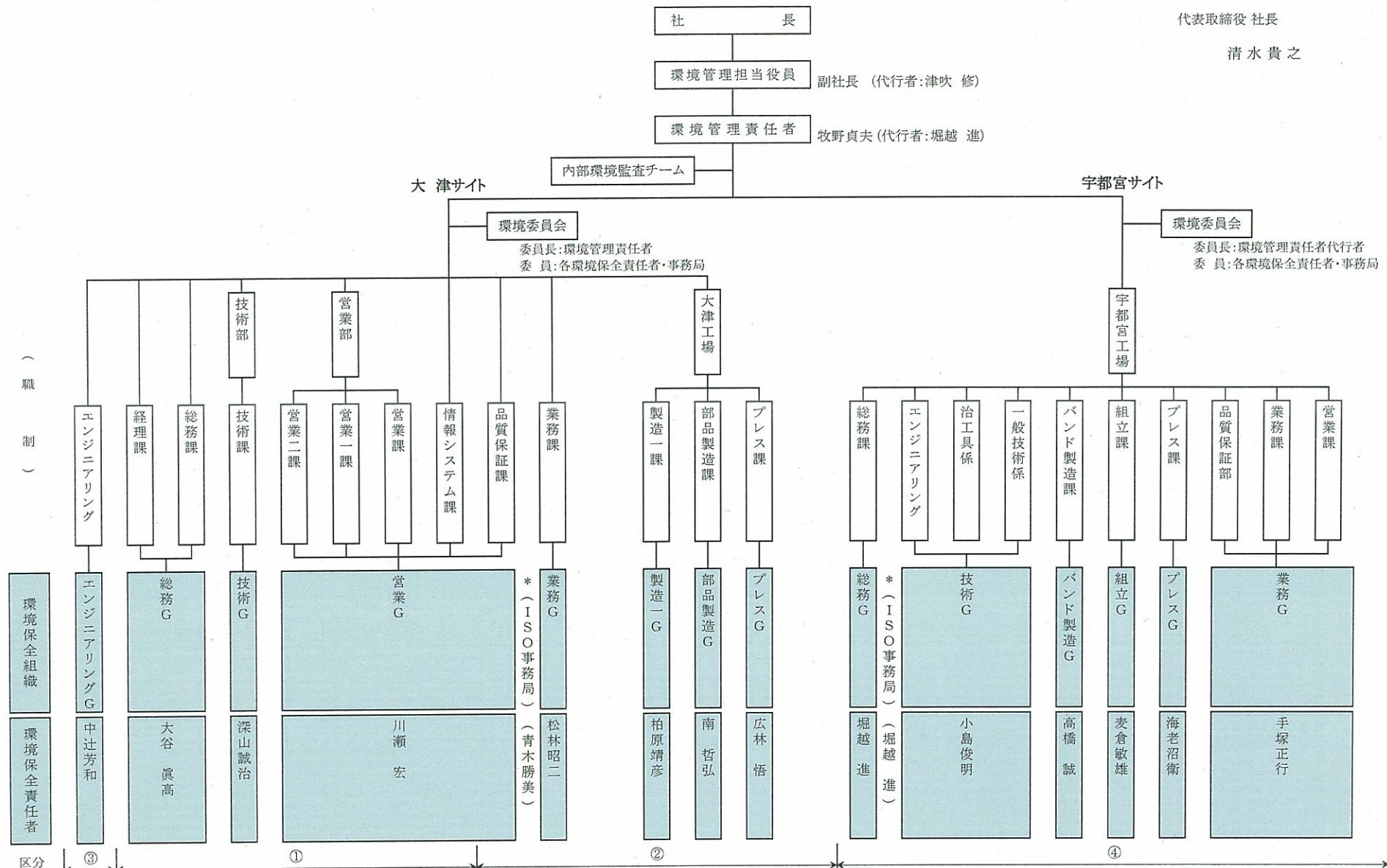
2001年 9月 1日

代表取締役社長

清水 貴之

図表-4-1

# 環境マネジメント推進組織



注)①:本社 ②:大津工場 ③:エンジニアリング ④:宇都宮工場  
事務局は、ISO推進室が担当し大津サイトが主管で推進する。環境管理担当役員及び環境管理責任者については、宇都宮工場にそれぞれ代行者を置き推進する。

制定日	2001.9.25	改定日	1. 2001.10.15	2. 2001.11.8	3. 2002.1.29	4. 2002.10.1	5. 2003.8.1	6. 2003.10.1	7. 2004.3.1	8.	日伸工業株式会社
			9.	10.	11.	12.	13.	14.	15.	16.	

承認	検印	作成

## 環境目的及び環境目標一覧表

ページ: 1  
作成: 2003年 6月 27日

環境保全組織: 日伸工業全体

環境方針	項目	目的 (2005年度)			目標 (2003年度)			担当
		到達点		時期(年/月)	到達点		時期(年/月)	
リサイクル率の向上	①事務用紙のリサイクル率の向上	H-4 I-2 O-52	・事務用紙のリサイクル率向上・維持 ◎リサイクル率60%	2006年6月	・事務用紙のリサイクル率向上・維持 ◎リサイクル率55%		2004年6月	全体
廃棄物の削減	①産業廃棄物の削減	H-4 O-32	・廃プラスチックの削減・維持 ◎135Kg/月	2006年6月	・廃プラスチックの削減 ◎140Kg/月		2004年6月	総務G
エネルギーの削減	①電力・水素ガス・潤滑油の使用量削減	H-4	・10,000/月以上の単発工数を全廃する。 ・～2005年中までに、8型の合理化金型を量産導入	2006年6月	・プレス一貫化により、2次加工を廃止する。 ◎年間2型以上の実施。		2004年6月	技術G
環境負荷物質の削減	①化学研磨液の削減	I-7 O-19	・化学研磨液の削減	2006年6月	・化学研磨液の削減 ハンド化研液の効率UPによる液の削減		2004年6月	
著しい環境側面	①緊急事態の防止	H-3 O-3	・環境設備の管理体制の強化	2006年6月	・環境設備の管理体制の強化 日常管理の徹底 不具合箇所の早期発見・修理 夜勤時の管理担当者の育成		2004年6月	処理G

## 環境美化作業の実施

日伸工業(株)

環境保全責任者を中心に会社周辺の  
清掃&敷地内を流れる川掃除を実施

川掃除風景



清掃風景



## 〔リサイクル率の向上及び一般廃棄物の削減〕

紙のリサイクルにより一般廃棄物を削減する

〔リサイクル率(%)=紙のリサイクル量÷(一般廃棄物量+紙のリサイクル量)×100〕

